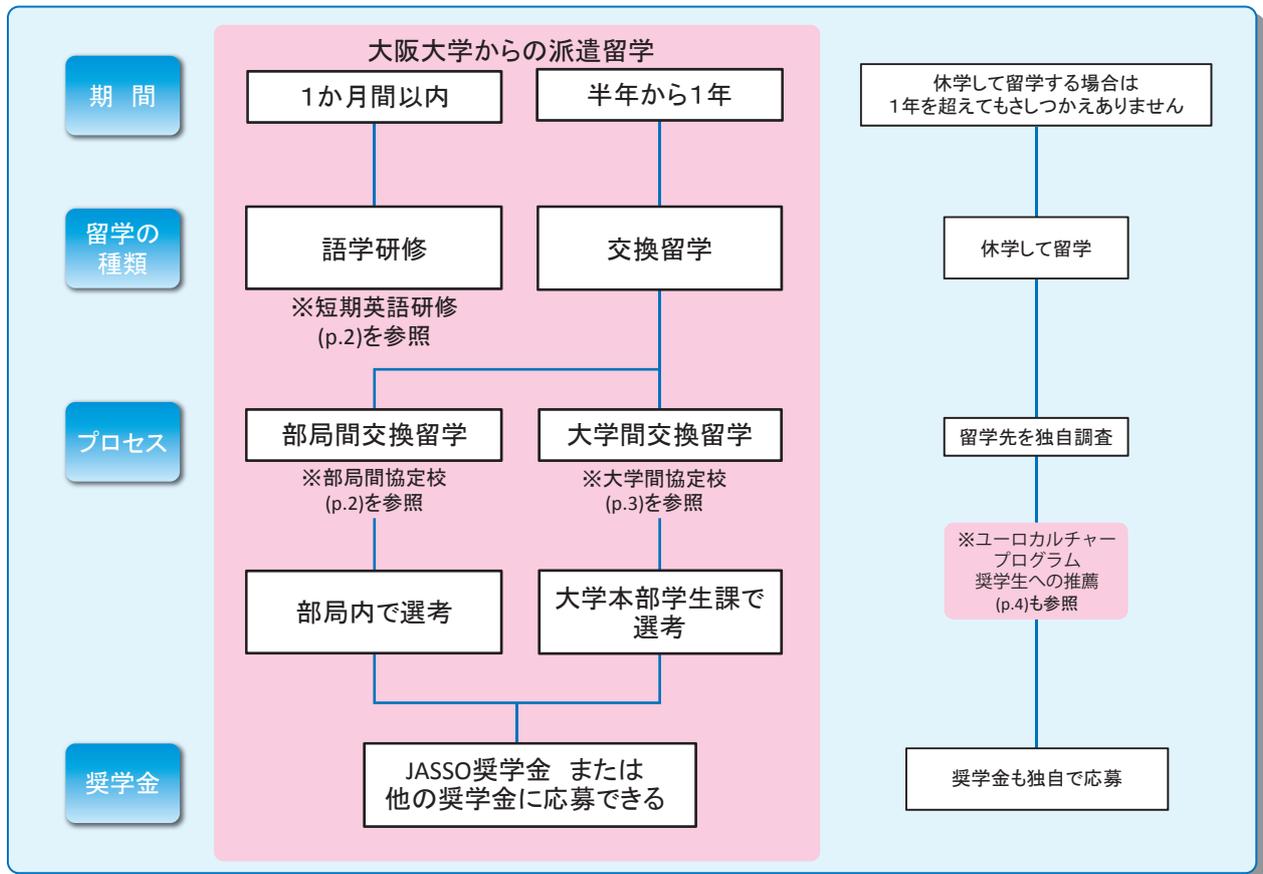


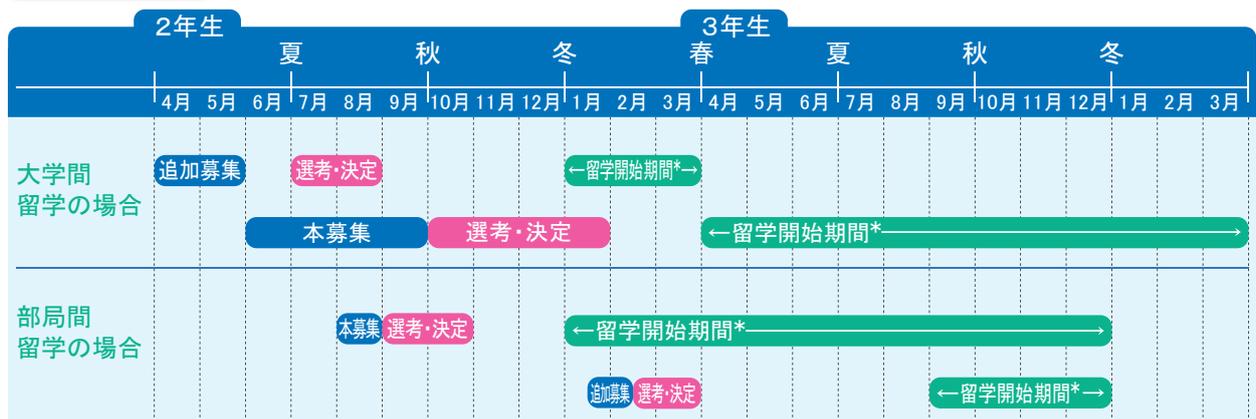


留学のチャンスを活用しましょう！

大阪大学では学部生・大学院生の海外留学を推奨しています。
 このパンフレット掲載の情報は、[文学部・文学研究科のホームページ](#)でご確認いただけます。
 文学部・文学研究科 HP » 国際交流 <http://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/international>



タイムライン



*留学開始時期は受入大学の学期開始時期による

A. 留学情報 役に立つ説明会が実施されています

- ★「海外留学オリエンテーション」(国際学生交流課主催) 4月末に各キャンパスで開催。
語学研修、国際交流科目などについての説明があります。
- ★「海外留学フェア」(国際学生交流課主催) 4月末に豊中キャンパスで開催。
- ★「大学間交換留学オリエンテーション」(国際学生交流課主催) 5月から6月にかけて、各キャンパスで開催。
交換留学(大学派遣)についての説明があります。
- ★「文学部・文学研究科 留学説明会」5月開催。
文学部・文学研究科の交換留学、語学研修の体験談、留学の応募から出発前の準備の様子などを紹介します。
☆パンフレット「海外留学にチャレンジしてみよう！」
http://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/outbound/ex_students.html

留学の種類と語学研修

- ★短期英語研修 [数週間程度] 夏休みや春休みに英語研修が実施されています。

プログラム名	募集時期 (2019年度情報)	実施時期 (2019年度情報)
ヨーク大学 夏季語学研修プログラム*	5月中旬	8月下旬～9月下旬 (24日間)
グローニンゲン大学 短期訪問プログラム*	4月中旬から5月上旬	8月中旬～9月初旬 (16日間)
オタゴ大学 夏季語学研修プログラム*	4月から5月中旬	8月下旬～9月下旬 (1ヶ月)
モナシュ大学 春季語学研修プログラム*	10月中旬から11月上旬	2月末～3月末 (1ヶ月)

※「国際交流科目」として単位修得できるプログラム☆募集情報は大阪大学や文学部・文学研究科のHP、KOANでご確認ください。

- ★交換留学 交流協定校へ1学期以上、1年未満の期間での留学

- ✓ 交換留学制度を利用する場合、大阪大学を休学することはできません。「留学」という身分になります。
- ✓ 留学中は大阪大学の学費を本学に納入します。多くの場合、留学先大学へ授業料を支払う必要はありません。
- ✓ 留学先で取得した単位は、所定の手続きを経て大阪大学で取得した単位として認められることがあります。
- ✓ 英語力は TOEFL iBT79～80以上、IELTS 6.0以上が目安です。イギリスの大学への留学には IELTS for UKVI 6.0 (各セクション 5.5以上) 以上のスコアが必要です。

- ◆文学部・文学研究科の学生が海外留学のために利用できる交流協定には下記の2種があります。

1. 交換留学 (部局間) 文学部・文学研究科は以下の大学と学生交流協定を結んでいます。

イギリス	マンチェスター大学	人文学部
	イーストアングリア大学	
イタリア	ウーディネ大学	法学部
オランダ	グローニンゲン大学	人文学部
スウェーデン	ウプサラ大学 (*修士・博士前期のみ)	神学部
チェコ	オロモウツ パラツキー大学	文学部
ドイツ	ハイデルベルク大学	日本学研究所
	ゲッティンゲン大学	社会科学部
フランス	パリ・ディドロ大学	
ポーランド	クラクフ ヤゲロニアン大学	ヨーロッパ研究所
中国	上海戯劇学院 *院生のみ	
韓国	建国大学 *院生のみ	
	韓国芸術総合学校	演劇院
タイ	チュラロンコン大学 *院生のみ	アジア研究所
台湾	国立台湾師範大学	文學院
		国際与社会科学学院

交換留学 (部局間) の募集・選考予定は以下の通りです。

募集	8月 (本募集)	1月～2月 (追加募集)*
選考	9月上旬	2月～3月
留学開始	翌年1月～12月	9月～12月

* 大学によっては募集枠のない場合があります。

2. 交換留学（大学間）

大阪大学は世界各地の約 129 大学と交流協定を結んでいます。（2019 年 9 月現在、大学 HP 参照）

募集締切	5 月下旬頃	9 月下旬頃
学内選考・面接	7～8 月	10～11 月
学内選考結果通知	8 月頃	1 月頃
留学開始	翌年 1 月～3 月	翌年 4 月～翌々年 3 月

B. 奨学金情報（2019 年度実績）

（奨学金の募集条件等は変更される可能性があります。2020 年度に募集される奨学金情報は、順次、大学のホームページ、KOAN 等で案内されます。）

大阪大学 HP » 国際交流・留学 » 大阪大学から海外留学したい方 » 留学助成制度

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/outbound/scholarship>

1. 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）実施の奨学金

支給型・・・応募要件等を確認のうえ、文学部・文学研究科教務係に応募書類を提出してください。

協定派遣	学部・大学院の正規生（外国人留学生を除く） 3 ヶ月以上 12 ヶ月以内の交換留学	月額 10・8・7・6 万円 月額支給額は地域により異なる
大学院学位 取得型	以下の全てを満たす者（外国人留学生を除く） ①申請時に本学学部・大学院に在学する正規生 又は最終学位を本学正規課程で取得した者 ② JASSO が定める「応募者の要件」を満たす者	月額 89,000 円～148,000 円 （地域により異なる） 授業料（上限 1 万米ドル）

他にも、貸与型の「第二種奨学金」（短期留学）・（海外）があります。

詳細は下記ホームページ (<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>) をご覧ください。

2. 大阪大学の奨学金 未来基金グローバル化推進事業

応募要件等を確認のうえ、文学部・文学研究科教務係に応募書類を提出してください。

交換留学奨学金	学部・博士前期課程の正規生 交換留学（3 か月以上 1 年未満）	月額 5 万円
研究留学助成金	大学院生（正規生） 研究留学（3 ヶ月間以上 10 ヶ月間程度）	往復渡航費：アジア地域 10 万円、その他地域 20 万円 奨学金：月額 10・8・7・6 万円（留学先による）
住友化学グローバルリーダー 育成奨学金	学部・大学院生（正規生） 留学（3 ヶ月間以上）	留学期間 6 か月未満：50/70 万 留学期間 6 か月以上：70/100 万

3. 文学部の奨学金 教育ゆめ基金

交換留学する**文学部学生**を対象とした奨学金です。1 年に 2 回募集します。

文学部・文学研究科 HP » 国際交流 » 海外留学・研修 » 交換留学（部局間）について » 「4. 教育ゆめ基金」

<http://http://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/international/exchange/inter-faculty>

4. その他の奨学金

* 日本学生支援機構「**海外留学の奨学金**」のページ http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/scholarship_other/

* 「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～」

対象：学部・大学院に在籍する正規生 28 日以上 2 年以内（3 か月以上推奨）留学する者

支給額：月額 6～16 万円（経済状況や留学先地域による）

C. 外国語による授業

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/inbound/exchange_program/eng_course (英語開講授業リスト)

1. 全学共通教育科目の外国語による授業
2. 国際交流科目 全学の先生方が、その専門に応じて英語による講義を提供しています。
3. 外国語による発信力を育成するための科目
“Basic Academic Skills for Humanities” “Introduction to Contemporary Japanese Studies” などの外国語によるアカデミックスキルを育成する授業を開講しています。
4. エラスムス・ムンドゥス英語授業 "Contemporary Japan in the Global Context"
10月から12月に開講されます。(修士課程以上)

D. 語学能力について

英語の場合 各大学の必要要件を調べましょう。各セクションごとに足切り点がある場合もあります。

- ・ TOEFL アメリカやカナダなど北米の大学に応募する場合一般的に用いられます。試験はコンピューターで4技能(リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング)を測定する試験です。
- ・ IELTS イギリスやヨーロッパ、オセアニア、アジア圏などで一般的に用いられます。特にイギリスの場合は、IELTS UKVIの指定がある場合もあるので確認しましょう。また、学生ビザ申請のための足切り点もあります。筆記試験と、スピーキングの面接があります。

英語以外の外国語の場合

当該外国語の語学能力試験のスコアの提出、もしくは大阪大学で行われている当該ネイティブ講師による語学能力を証明する文書の提出によって判断します。大学間では、交換留学応募時に公式の語学能力証明書を求められることがあります。)

国際連携室に試験対策用の参考書がありますのでご利用ください。貸し出しもできます。

★正規留学 学位取得を目指し、国外の大学や研究機関へ留学

▼エラスムス・ムンドゥス修士課程への留学 ユーロカルチャープログラム奨学生への推薦

EUが運営するErasmus Mundusプログラムのひとつに、ユーロカルチャー (Euroculture) があります。豊富なカリキュラムを通じ、現代ヨーロッパの文化・社会・政治について、EU圏内の大学で多角的に学べるプログラムです。

大阪大学文学研究科は同プログラムのパートナー校として、大阪大学の卒業生と大学院生の中から毎年若干名を推薦しています。2年間、EU圏内の以下の8大学のうち2校へ留学でき、修了後はその2校から修士号が得られます。詳細は文学部・文学研究科の関連ページ([HP](#) » [国際交流](#) » [Erasmus Mundus](#))をご覧ください。

コンソーシアム参加校：グローニンゲン大学 (オランダ)、ゲッティンゲン大学 (ドイツ)、ウプサラ大学 (スウェーデン)、ヤゲロニアン大学 (ポーランド)、パラツキー大学 (チェコ)、デウスト大学 (スペイン)、ウーディネ大学 (イタリア)、ストラスブール大学 (フランス)

毎年10月に説明会を実施していますので興味のある方はご参加下さい。

11月に学内選考を行い奨学生候補を選出しています。





留学体験記

ニュージーランドでの素晴らしい出会い

文学部人文学科 1年 高畑るい
ニュージーランド オタゴ大学夏季語学研修プログラム (派遣時 学部1年)

受験生の時は勉強が最優先で、やりたくてもやれないことばかりだったので、「大学生になったらやりたいと思ったことはすべて実行に移そう！」と意気込んでいました。私は高校生の時にカナダに二週間ホームステイをしたのですが、その時に英語で自分の言いたいことを伝える難しさを痛感して以来、大学では英語でのコミュニケーション能力を伸ばそうと固く誓っていました。また長期留学をしたいと考えていて、留学の説明会に行ったときにオタゴ大学での短期の語学研修プログラムがあることを知り、本当に長期留学をするのかじっくり考えるいい機会になると思い、参加を決めました。

特にこのプログラムに参加してよかったと思う理由は様々な人達との出会いです。語学学校で中国人やカタール人の友達が出来ました。どうしても阪大生同士や日本人同士で固まってしまうがちだけど、英語でコミュニケーションを取ろうとする気持ちを忘れず、笑顔で話しかければ誰とでも仲良くなれます。中国人の友達とは彼女のフラットに泊めてもらったり、一緒に中華料理を食べに行ったりたくさんの思い出ができました。今もチャットをしていて、元々日本のドラマを見るのが好きだった彼女は日本語を学び始めたそうです。母語が違う私たちにとって英語は最良のコミュニケーションツールになりました。彼女のほうが長くニュージーランドにいて英語が流暢なので、私ももっと英語を頑張ろう！と前向きに思えました。でもそれと同時に中国語も学びたいと思う気持ちが生まれました。彼女が日本についてよく聞いてくれたおかげで、私は彼女がどんな語彙でどんな風に文を組み立てているのか知りたいと思うようになったからです。もちろんお互い英語が喋れたらコミュニケーションはとれます。けれど自分が相手の言語を学んでいたら、お互いがお互いの言語に興味を持ち合っていたら話題が増えて会話はもっと楽しくなるでしょう。中国語を母語とする人とあちこちで出会う中で英語だけにこだわるのはもったいないと感じるようになり、視野を広げられました。

また阪大から同じプログラムに参加していた学

生の皆も長期留学を考えている人やもう交換留学に応募した人が多くいて、参考になると同時にとても刺激を受けました。

色々な国の人々が、様々な理由でオタゴ大学の語学学校にやって来ています。たくさんの人とたくさん英語でコミュニケーションを取ってそれぞれのバックグラウンドを知ることができた有意義な一か月でした。今回、自然豊かで時間に縛られすぎないニュージーランドでゆっくりと自分の人生について考え、しっかり英語を学ぶという機会を得られてとても幸せでした。



友達のホストファミリーにドローンで撮ってもらいました。自然がすごい！



羊がかわいかったです

ドイツ留学を終えて

西洋史学専修 4年 山本結菜

ドイツ ハイデルベルク大学 (部局間派遣、派遣時学部3年)

「なぜドイツに留学したの？」—ドイツ ハイデルベルク大学への留学を終え帰国した現在、多くの人からそう聞かれます。私が留学を志したのは、オーストラリア モナシュ大学への短期留学プログラムがきっかけです。他言語を使って多くの人々と交流する楽しさを知った私は、「もっと長い期間海外に行きたい！」と思うようになりました。そして、ドイツに行けば、英語もドイツ語も、なおかつ専門のドイツ史も学べてお得だろうという短絡的な考えで三年生の4月にドイツ留学を決めました。

しかし、まともにドイツ語で会話をしたことすらなかった私は、留学当初は非常に苦しい日々を送っていました。初級コースの先生の指示もわからない、他の寮生のジョークも聞き取れない、パン屋のおばちゃんには話が通じず、欲しいパンも買えない…。そんな初級も初級ながらも、私は、留学後期に歴史学ゼミをドイツ語で聴講することを留学の目標としていました。半年で、ゼミを受講できる上級レベルに上げるために、私は冬と春の長期休暇にホームステイに挑戦しました。やはり、大学の授業と寮生活だけでは飛躍的な成長は見込めないと考えたためです。ドイツには留学生が40ユーロ程度で休暇中ホームステイできるプランがあり、それを利用しました。

結論から言うと、2度のホームステイを通して私は一番成長できました。それまで、私は自分のレベルの低さを恥じてネイティブと必要最低限の会話しかしなかったり、「いつかは上達するだろう」と考えて、漠然と日々を過ごしていました。しかし、ホームステイ先で家族の一員としてクリスマスと共に過ごしたり、現地の高校に通わせてもらったりする中で、とにかく自分の考えを伝える積極性、間違いや失敗を恐れない勇気を身につけることができました。現地の高校では、社会・英語・国語(つまりドイツ語)の授業を重点的に受けていました。授業はグループワークが中心で、「なぜそう思うのか」「自分は何がしたいのか」を常に関われ、それらを周りにアウトプットしていくことが求められました。非常に辛く、高校生よりはるかに出来ない自分に悔しさを感じる日々でしたが、言語だけでなく、ドイツ人の生活や価値観を肌で感じる事ができたのが大きな収穫でした。

大変だったことばかり書いてしまいましたが、留学は楽しい、嬉しいこともいっぱいあります。全世界からの留学生と出会い、仲良くなれますし、ドイツ人学生との交流を経て学術的な知識を深めることもできます。ハイデルベルクでは皆、夏は河原でバーベキューや日光浴をしたり、冬はクリスマスマーケットでワインを片手におしゃべりを乐しみます。ビールも一本1ユーロくらいで買えます！そんな、日本ではなかなかできない体験を、留学先ではたくさんできます。少しでも迷われている方がいたら、ぜひ目の前のチャンスに飛び込んでみてください。きっとあなたの世界が開けるはずです。



ホストファミリー



クリスマスツリー

留学に行こう！！

英米文学英語学専修 4年 金子光歩

カナダ トロント大学 (大学間派遣、派遣時学部3年)

私は、家が教会だということもあり、小さい頃から海外の方と関わる機会が沢山ありました。その方々との交流を通して、海外に強い興味を持つようになり、「私もいつか絶対海外に行くんだ！」と考えるようになりました。その思いは年々強くなり、大学に入学して交換留学という機会を与えて頂いた時には迷わず飛びつきました。自分が学びたかったオルタナティブ教育の研究をしておられる教授がおられた、トロント大学へ1年間交換留学をさせていただきました。

この留学を通して、様々な学びや新しい発見がありました。自分の興味のある分野に対する理解が深まっただけでなく、多文化理解が深まり、知らないうちにガチガチに固められていた固定観念や、当たり前だと思っていた当たり前にするべきでない事柄に気づかされたことが、これからの人生に非常に良い影響を与えるものとなりました。日本ではできなかった、内容的にも教授法的にも新しい学びをすることが出来たこと、そして以前から興味があったオルタナティブ教育に関する学びをすることが出来たことが、今回の留学で得ることが出来た大きな学びです。

一つ目の新しい学びに関しては、「先住民と教育」、「教育と国際化」などの新しい分野の学びに関しては、留学前はほとんど知識も関心もありませんでした。実際に授業を履修してみると、カナダが多様性の国と言われる理由がわかりました。多様性を認め、受入れ、尊重する意識を、教育を通して形成していたのです。先住民の権利と文化を理解して尊重する。世界中から集まる人々の多様性を認め、異なる文化についての理解を深めることで誤解と対立を無くしていく。日本の内外にも見られる様々な対立を無くす取り組みの一つとして、非常に有効だと強く感じました。また、内容のみならず、教え方にも様々な工夫が凝らされており、興味深かったです。「先住民と教育」に関しては、ワークショップを通してコミュニティーが崩壊させられてゆく過程を目の当たりにしたことで、単なる知識だけではなく共感できる身近なものになりました。「教育と国際化」に関しては、世界の様々な所から集まった学生たちが、それぞれ、世界中の様々な教育について1時間ほどプレゼンを行い、先生が捕捉をし、みんなでディスカッションをするという斬新な方法での授業で、生徒たちが自分の経験を踏まえて話をしたりと、より身近に感じられる工夫がされていました。

二つ目のオルタナティブ教育に関しては、日本ではまだほとんど研究がなされていないため、非常に実りの多い学びとなりました。制度的にも、社会的にも、オルタナティブ教育の有効性をもっと周知していき、生徒たちがより多くの選択肢を持つことが出来るよう、努力したい。

また、学業だけでなく、文化的にも様々な新しいことに触れることが出来ました。友人と旅行に行ったり、クリスマスやThanks Givingなどの海外の文化に触れたり、年末年始をアメリカにいる友人の所で過ごしたりと、今まで見たことの無い景色を見、食べたことの無い食べ物を食べるなど、非常に貴重な経験をする事が出来ました。

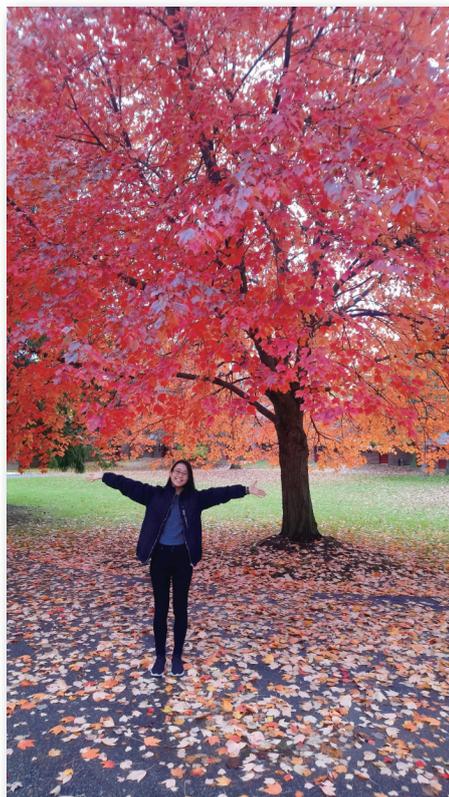
留学に行きたいと考えておられる皆さんには、英語力を磨くこと、自分の興味関心のある分野をしつかりと学んでおくこと、そしてたくさんの方に行きたいという気持ちを伝え、話を聞いたりアドバイス

を頂いたりすることをおすすめします。大学の教授、国際部の方、国際連携室の方、留学に行かれた先輩など、みなさんの周りには、留学に関しての知識と情報をたくさん持っておられる方々がおられます。その方々の所へ行き、話をお聞きしたり、相談に乗って頂き、アドバイスを頂いてください。準備をするのに早すぎるといふこと、そしてやりすぎるといふことはありません。

留学は、価値観が大きく変えるものです。海外での体験は日本人にとってはなじみのないものも多く、最初は躊躇してしまうこともたくさんあると思いますが、「旅の恥はかき捨てだ!」と思って、なるべく色々挑戦してみてください!



カナダは紅葉がとても綺麗です!



Maple leafがとても綺麗でした!

Study at Osaka University

特別聴講学生 日本語学 Bär Jonas
部局間 交換留学生 (ドイツ ハイデルベルク大学)

This is my second time being an exchange student in Japan. Since the beginning, I was welcomed very warmly by the Staff of Osaka University's Graduate School of Letters and my supervisor of the Japanese Studies Department. Although I initially had some problems with finding an accommodation and choosing my classes for the term, the Osaka University Staff has been very supportive and helped me to quickly resolve these problems. I am very grateful for having been given the opportunity to study at Osaka University as I already could meet many new people and attend very interesting classes. Adding to my previous exchange experience at Chiba University, my stay at Osaka University definitely helped me in shaping a more wholesome picture of Japan, as well as strengthening my resolve to continue pursuing a Japan related field of study and career.

Although I have been attending Japanese Language classes as well as courses related to my field of study on English, half of my classes consist of subjects mainly aimed at Japanese students. Taking classes on Japanese which are not just related to language learning has been very challenging at first, but pushing myself to learn alongside with Japanese students has been a very rewarding experience so far and gave me the confidence to attend even more classes aimed at Japanese students for the following semester.

As for activities outside of classes, there is no shortage of various culture or sports related clubs which offer great opportunities to meet other students and enjoy various activities together. Moreover, I highly recommend finding a language exchange partner as you can improve your Japanese skill while possibly creating long lasting friendships. One can find these people by paying a visit to the various

Language departments as well as going to the Center for International Exchange where events such as the Japanese Café and cooking classes are regularly hosted by OU Student



Visiting the Deer in Nara



Golden Fish in Nagoya Castle

編集・発行 文学部・文学研究科 国際連携室
宇野田尚哉・モハンマド モインウッディン・内田多鶴
発行日 2020年3月31日

〒560-8532 豊中市待兼山町 1 - 5